

全国 158 拠点から選抜の 20 名が接客から搬出まで一気通貫で競う

『第 12 回 アート引越技術コンテスト』全国大会を開催 神奈川ブロック代表が優勝！

アート引越センター株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：寺田 政登）は、2026 年 9 月 9 日（水）、引越の技術を競い合う全国大会「第 12 回アート引越技術コンテスト」を、アート引越センター北大阪支店（大阪府豊中市）で開催しました。全国 158 拠点およびグループ会社のアートセッティングデリバリー株式会社から選抜されたチームが予選を経て、代表 10 チーム（東日本 5 チーム、西日本 5 チーム）が本大会に出場しました。

『アート引越技術コンテスト』は、引越技術の更なる向上とサービス品質の追求を目的に開催しており、今回で 12 回目を迎えました。全国の予選を勝ち抜いた 10 チーム（1 チーム 2 名、うち少なくとも 1 名は女性スタッフ）、計 20 名の引越のプロフェッショナル達が出場し、「①運転・誘導競技」「②複合競技」の 2 種目で技術を競い合いました。

これまでの大会では、梱包・運搬など引越しの工程ごとに競技を分けて実施してきましたが、今年は競技を分けず、実際の引越作業を想定した実戦形式の「複合競技」として、接客・梱包・運搬までを一連の流れで行い、引越サービスの総合力を評価しました。

また、競技の様子をリアルタイムで映し出す大型ビジョンも設置され、各ブロックの応援の声が会場を盛り上げました。

本大会は、神奈川ブロック代表の笠原 慧音さんと沢尻 直也さんのペアが優勝しました。笠原さんは「みなさんの声援のおかげで優勝できました。」と語り、沢尻さんは「今回、この場所に立ったことで 2 つのことを証明することができました。1 つ目は、入社して 20 年間お世話になった方々に自分の引越し技術を披露し、1 番になれたことです。そしてもう 1 つは、自分が教えてきた若い世代のみなさんにも、ここに立つチャンスと未来があるということです。それを僕自身が証明できましたので、若い世代のみなさんの挑戦を期待しています。この 2 つを大会で証明することができ、非常に良い大会になりました。」と語りました。



優勝した神奈川ブロック代表と寺田政登社長
（左から笠原さん、沢尻さん、寺田政登社長）

■ 本件に関するお問合せ先 ■

アート引越センター株式会社 広報宣伝部 小林・中川・永野・畠山 電話 06-6946-0143

■ リリース配信に関するお問合せ先 ■

アート引越センター PR事務局（共同ピーアール内） 杉浦、菅野 電話 070-4303-7300

【 第 12 回アート引越技術コンテスト開催概要 】

【日 時】 2026 年 9 月 9 日(水) 10:00~17:00

【会 場】 アート引越センター北大阪支店(大阪府豊中市箕輪 3-7-1)

【参加者】 全国 158 拠点およびアートセッティングデリバリー株式会社から

出場したムービングスタッフのうち、予選を勝ち抜いた代表 10 チーム(1 チーム 2 名、うち少なくとも 1 名は女性スタッフ) 計 20 名

【種目】 ①運転・誘導競技(トラックの運転技術)

②複合競技(実際の引越作業を想定した競技)

【競技内容詳細】

① 運転・誘導競技

約 15m×15m の特設コースで 3t トラックを操作し、定められたルートを制限時間 10 分以内に走破する競技です。運転者と誘導者に分かれ、スタート後、コース進入・1 つ目のコーナー通過と方向転換を行い、2 つ目のコーナーには後退で進入。障害物となるポール(看板)に注意しながら、ゴール地点のフェンス際まで車両を正確に誘導します。運転者と誘導者が声を掛け合い、連携力と安全性、スムーズな操作精度を競います。

② 複合競技

実際の一戸建てを想定した研修ハウスを舞台に、引越作業を実戦形式で行う競技です。インターホン対応からスタートし、お客さまへの挨拶・接客、荷造り、搬出まで一連の作業を制限時間 20 分以内で実施。2 階の指定家財をすべて運び出し、トラック荷台への積み込み完了した時点で競技終了となります。

< 今大会の様様 >

